

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス リアン				
		公表日 令和 7年 2月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		学習室、活動室、面談・静養室、支援室があり、学習室で活動できない児童については面談室で個別に行ったり、周りが気になる児童にはパーテーションを使用し対応している。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		築年数の古さや構造上、完全張りやフリー化は難しい状況。今のところ不便の訴えはないが、必要があれば意見をもとに改善できるところは改修していく。。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童一人ひとりに担当職員を設定し、定期的な評価目標設定を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		自分に足りないところ、できないところを相談・話し合う機会があり、みんなの意見をもとに支援に繋げることができている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在第三者による外部評価は行っていないが、今後必要に応じて外部評価も検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修への参加や、強度行動障害初任者研修受講（今年度3名）実施。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページ上に掲載しております。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		毎朝の朝礼時に前日の活動状況を報告し、全児童の状況把握に努めている。自身の知らない情報を他職員から聞ける機会を作ってサービス計画に盛り込んでいる。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		児童個々に必要なスキル、苦手分野に合わせた支援プログラムを毎日固定化しないように作成し、個別から小集団で支援している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		送迎や支援時間・就業時間の関係上、当日振り返りが困難な場合が多いが、翌日の朝礼時に必ず振り返りを行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		プログラムの内容は職員が考えて提供しているが、自由活動や制作などについては他児童の妨げにならないよう、児童が選択して活動できるようにしている。	プログラムについては児童自身が決めててしまうと遊びが多くなってしまうため、職員が児童に合ったものを考えて設定しており自己決定権はあまりない状況。今後検討の余地あり。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		提携医療機関は2カ所、怪我などに対応する病院と発達特性に合わせて相談できる病院と分けて結んでいます。また相談支援事業所、学校などとは定期の担当者会議や状況に応じてケース会議を行っています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		<input type="radio"/>		児童発達支援事業所から療育を継続して利用される児童については情報交換の場がありますが、保育所や幼稚園、認定こども園との場が少ないため今後は機会を作りたいと思います。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				まだ対象児童が居ないため評価できません。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			交流の場はないわけではありませんが、まだまだ少ないので主催となり、交流の場を作りたいと思います。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		お帳面を活用し日々の活動状況を記載したり、送迎時に状況報告を行っています。また、緊急性などあれば管理者からその都度連絡させていただいております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		面談希望の家庭を回ったり、悩みのある親御さんへの相談には直ぐに対応しております。また、児童に変化があった際は個別に話をする場を設け、親御さんに報告するとともに助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		ハロウィンなどで地域に協力をもらい交流を図る機会や他事業所を招待してピーマン狩りを行いましたが、地域住民を招待しての活動はできていないため今後計画していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			家族への周知が不足している部分があるため、今後は詳しくじに説明を行っていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		児発管が看護師のため、利用前の情報根幹時にアレルギーや既往歴を必ず確認しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハット事案があった際は直ちに管理者に報告するとともに報告書に記載し、再発防止に向けた話し合いの場を作っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			